

総務委員会

委員長名：佐々木 勝

副委員長名：菅原 正純、堀内 重見

委員名：磯部 伸夫、岸本 和也、菅尾 智美、福田 誠、森 秀樹、柳澤 大輔、
和賀 元海

1) 事業報告

I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

(a) 内 容：総会並びに理事会の開催、鎌倉青年会議所の運営

(b) 時 期：2009年1月～12月

(II) 広報に関する事業

(a) 内 容：ホームページの管理・運用・外部への情報発信

(b) 時 期：2009年1月～12月

(III) 渉外に関する事業

(a) 内 容：(社)日本青年会議所、関東地区協議会及び神奈川ブロック協議会の
事業への参加、関係諸団体の事業への参加、出向者支援

(b) 時 期：2009年1月～12月

(IV) 関東地区フォーラムへの参加に関する事業

(a) 内 容：7月第一例会 関東地区大会

(b) 時 期：2009年7月11日(土)

(c) 参加人数：正会員28名

(d) 開催場所：横須賀芸術劇場・うみかぜ公園他(横須賀市)

(V) 新年会の開催

(a) 内 容：1月例会 新年会

(b) 時 期：2009年1月27日(火)

(c) 参加人数：正会員40名、OB35名、ゲスト3名

(d) 開催場所：鎌倉パークホテル

(VI) 事業報告会及び出向者報告会の開催に関する事業

(a) 内 容：11月例会 事業担当者・出向者報告会

(b) 時 期：2009年11月17日(火)

(c) 参加人数：正会員35名、ゲスト3名

(d) 開催場所：鎌倉生涯学習センター第六集会室

(VII) 公益社団法人格取得に関する事業

(a) 内 容：公益認定申請後の管轄官庁等への対応

(b) 時 期：2009年 1月～12月

2) 委員会報告

本年度総務委員会では、田中理事長のもと「進化と継承」実現のために委員会の総力を挙げて堅実かつ躍動感あふれる組織運営を目指して一年間取り組んでまいりました。まず総会及び理事会という重要な意思決定機関の会議に関しましては、効率的かつ円滑な運営を通じ会員及び諸先輩方との共通理解と意思の統一を図ることにより、設営の鎌倉といわれた伝統の継承と各事業の成功への寄与を図ってまいりました。また、ホームページを稼働させ、その有効活用に力を入れたことで、当会議所の実施する事業や考え方等を会員のみならず広く市民の皆様にアピールすることができたものと考えております。今後広報ツールとしてのホームページの有用性は増大していくものと考えますので、さらに重点を置いて検討していく必要があると考えます。関係諸団体や地域の諸事業につきましては、会員の皆様に積極的にご参加いただいたことで、信頼関係が構築されたものと考えております。さらに出向者の活動をサポートするとともに、事業担当者及び出向者の思いや経験を活かし繋いでいくために開催した11月例会も、2010年度以降に向けて大きな意義あるものになったと考えております。公益社団法人格の取得手続きに関しましては、所轄官庁への対応をしましてまいりましたが、いまだ公益社団法人格の取得には至っておりません。2010年度本事業を担当する委員会の皆様におかれましては迅速かつ的確な対応を引き続きお願いいたします。

総務委員会に付託された役割は重要かつ広範囲にわたるものでしたが、一年間全うすることができましたのは地道ながら青年会議所活動の基本となる部分に多くの会員の皆様からご理解・ご協力をいただいたおかげであります。ここに謹んで御礼を申し上げます。

最後になりますが、経験の浅い私を優しくそして力強く導いていただきました田中理事長をはじめとする正副理事長の皆様、熱いJCスピリットをもってご指導いただいた村島専務、毎回積極的に委員会に参加していただいた委員会メンバーの皆様、そして各委員会委員長の皆様をはじめとするすべてのメンバーの皆様に感謝を申し上げ、委員会活動報告とさせていただきます。一年間本当にお世話になり有難うございました。